

令和5年度

学校関係者評価報告書

評価対象期間

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日

学校関係者評価委員会
令和6年2月21日

学校法人 琉美学園

琉美インターナショナルビューティカレッジ

・美容本科昼間部

学校関係者評価報告書

平成 25 年度の職業実践専門課程認可を受けてから本年度まで、より良い教育環境の整備と実践的な技能訓練の場を設置して参りました。

しかしながら技能の習得には未収軸な点もあり、その度改善をして参りましたが、技能向上には未だ結びつかないのが現状で有り評価委員の助言を取り入れた教育内容の改善が急務と思われる。

本年度は学校評価関係者のみならず美容、エステなど実技教師の声を含み改善点を相互に検討するものであります。尚、本学園は引き続き学校運営の改善や教育の質の保証の強化に取り組んでいく所存です。

① 学校関係者評価委員

委員長	呉屋良昭	学校法人 琉美学園	理事長	
委員	大城米子	美容室ビューティエイト		代表者
委員	小橋川清美	美容室ニューウェーブ		店長
委員	屋比久進	有限会社サンビューティナイル		代表取締役
委員	長濱克実	株式会社 HRD labo OKINAWA		代表取締役
委員	山川杉乃	一般社団法人日本エステティック協会		理事

② 評価基準毎の学校関係者評価

評価値	5	適正
	4	ほぼ適正
	3	やや適正
	2	改善必要
	1	不適切

1. 教育・理念 5

イ. 本学の学生については、美容師としての技術修得を目的とするだけでなく、社会人としての基本的なマナー、立ち振舞を学ぶことが出来ている。

2. 学校運営 5

- イ. 朝礼終礼など、職員間の連絡が密に行われ学生の管理状況を常に認識し合うなど運営管理が成されている。
 - ロ. 理事会・評議委員会を定例で行っており学校関係者に適切に状況の報告が成されている。
 - ハ. 学生募集状況について令和6年度入学生については、昨年比100%以上増を達成した、これまでの減少傾向から増加に転じ次年度についても維持できるよう活動を行う。
-

3. 教育活動 4

イ. カリキュラムの編成については、時代に即した内容を随時取り入れ、美容業界のトレンドや今現場で必要な内容を学ぶことが出来ている。
また、美容師法に則ったカリキュラムを遂行し美容師となるに相応しい教育を行っている。

4. 学修成果 4

- イ. 予定通り全学生、実務実習も開催されている
- ロ. 美容科はサロン実習においては県内の複数のサロンにおいて実務実習を行っている。
- ハ. 美容科については、昼間部生のみならず夜間生及び通信生（第 48 回美容師国家試験受験生については全員合格）についても国家試験合格率を高い水準を維持している。

5. 学生支援 5

- イ. 担任は就職について個別に対応しており計画的な就職カウンセリングを頻繁に行っている。
- ロ. 学生図書室には過去の先輩が就業するサロン情報が閲覧又は掲示物を見て情報が得られるように成っている。
キャリアマップを導入し図書室だけでなく、手持ちスマートフォン上で求人情報の検索が可能になっている。
- ハ. クラス内チャットを作成し教員が技術指導動画のアップロードを行っている。学外においても技術習得の確認ができるようになっている。

6. 教育環境 4

- イ. 就職に関しては、就職担当を設けており、県内外の美容室、また、卒業時に美容以外の進路に進むものにも適切にアドバイスができています。
 - ロ. 昨年度まで中止されていた海外研修が再開された。研修先は韓国を選定し美容技術習得に力を入れている。
 - ハ. 新年度には、学生へのアンケートを実施し、授業・学校生活での問題改善に努めている。
-

7. 学生の受け入れ状況 4
- イ. 学生の募集活動においては、一定期間ごとに高等学校を訪問しパンフレットの補充及び進路指導担当者とのコミュニケーションを図っている。
 - ロ. オープンキャンパス時に、在学生在がスタッフとして参加し、オープンキャンパス参加者に対し手厚くフォローを行っている。
 - ハ. 奨学金など入学に係る費用を募集要項に適切に情報開示を行っている。
-

8. 財務 5
- イ. 財務状況は無借金など、負債が無く良好と言える。
 - ロ. 事業計画に沿った予算書の作成、長期的な学校経営が視野に入っている。
 - ハ. 令和 6 年度については、グローバルホスピタリティ科の学生募集を停止、経費の発生を抑えることになった。
-

9. 法令遵守 5
- イ. 養成施設設置基準の要件を満たしており、学生個人情報の取扱いについては周知がなされており引き続き法令を遵守する。
 - ロ. 美容師法に則り、美容師となるに適切な授業が行われている。
 - ハ. 学生の個人上保護の観点より、校内での撮影、パンフレットやホームページ掲載用写真については学生個人個人より同意書を徴収している。
-

10. 地域貢献 5
- イ. 地域貢献活動を学期毎に実施している。国際通りの美化清掃や地域での催事などでネイルケアやハンドマッサージのボランティア活動を行っている。
 - ロ. 学内での喫煙を禁止するだけでなく、ごみ拾いを積極的に

取り入れている。

全体的に適正な教育活動及び環境整備が実施されており、引き続き学生に対し適切な指導を行って頂きたい。年度ごとの情報開示を適切に行い法令遵守の姿勢を教職員全体として実施して頂くことが重要である。
以上、学校関係者評価報告といたします。

令和6年2月21日

学校法人 琉美学園
琉美インターナショナルビューティカレッジ職業実践専門課程